

Istanbul Weekly vol.4-no.11

イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2015年3月20日（金）

— 今週のポイント —

- 政治：**クルトウルムシュ副首相、第3回国連防災世界会議出席のため訪日。
総選挙に向けた政党支持率に関する世論調査結果。
- 軍事：**トルコ兵の発砲で男性が死亡—トルコ南東部キリス県。
インジルリック空軍基地から飛んだ無人爆撃機が撃墜される。
- 経済：**失業率、10.9%と4年ぶりの高水準。
TUSIAD、DEIKからの脱退を求める。
- 治安：**ISILへの参加を計画していた英国人10代少年3名がイスタンブールで拘束。
イスタンブール・キュチュックチェクメジェ市で不審物が発見される。
- 社会：**タクシム—カパタシュ間のケーブルカーが故障。
TEM高速道路で路側帯進入などの交通取り締まり。

政治

【日本・トルコ関係】

●クルトウルムシュ副首相、第3回国連防災世界会議出席のため訪日

クルトウルムシュ副首相は、3月14日から仙台で開催された第3回国連防災世界会議にトルコ代表として出席するため訪日した。同副首相は、災害復興に関する分科会で議長を務めたほか、学校の安全性に関するワーキングセッションで、キーノートスピーカーを務め、トルコにおける学校の安全性・防災対策についての取組を説明した。同副首相は、在京トルコ大使館で、同行記者団に対して今回の訪日の概要や成果について以下のとおり述べた。

(1) 14日の安倍総理主催昼食会、同日夜の岸田外務大臣主催夕食会に出席するとともに、多くの要人と有益な意見交換の機会を得た。太田国交大臣との会談では、5月4日の同大臣のトルコ訪問予定に加え、両国間のビジネスの拡大、トルコへの日本人観光客数などについて話し合った。

(2) 今回の会議では、トルコの防災対策の説明に留まらず、シリア危機によってトルコに200万人のシリア人難民が流入し、トルコがそれら難民に大きな支援を行っていることを強調。国際社会のシリア難民に対する理解は不十分であり、問題の解決に向けた国際社会の更なる協力の必要性を訴えた。

(3) 日本の要人との会談では、シリアにおける日本人人質殺害事件が話題になった。日本人は、伝統的にイスラム文明に対して最も平和的に接してきた民族だ。日本人はトルコを愛し、長期滞在する傾向にあるが、残念ながら人質殺害事件以降、トルコへの日本人観光客はばったり止まってしまった。良好な対イスラム感情が逆行し始めており、今後どのような対応が取り得るか、日本側と協議した。(3月15日付 A.A インターネット版)

【内政】

●エルドアン大統領：「トルコにクルド問題は存在せず」
15日、エルドアン大統領は、「トルコにおいてクルド問題は存在しない」と述べた上で、クルド系のトルコ国民は、他のトルコ国民と同様の権利を有していると発言した。この発言に対し、デミルタシュ HDP 共同党首は「クルド問題が存在しないのなら、なぜ今、政府はクルド和平プロセスを進めているのか」として、エルドアン大統領を厳しく批判した。(3月14日付 M 紙インターネット版)

●ネヴルーズ祭とオジャラン PKK 首領を巡る動き

3月21日に予定されるクルド人の祭典であるネヴルーズ祭について、HDP 等代表団は、オジャラン PKK 首領が音声動画でメッセージを送ることが和平プロセスの進展にとってポジティブな影響を与えると主張し、政府側にその許可を求めた。(3月14日付 M 紙インターネット版)

●総選挙に向けた政党支持率に関する世論調査

(1) AKP 支持率 47.3% (ADA 調査社)
ADA 調査社が行った全国 30 県 5259 人に行った世論調査によると、今日総選挙の投票が行われた場合にどの政党に投票するかとの質問に対し、AKP47.3%、CHP24.4%、MHP14.8%、HDP9.2%との結果になった。また、CHP 支持者の 34.4%、MHP 支持者の 27.8%が、新しい党指導者が必要と考えていることが明らかになった。(3月13日付 Secim Anketi (Web サイト))

(2) AKP 支持率 39.3% (Gezici 調査社)
Gezici 調査社が全国 36 県 4860 人に行った世論調査によると、今日総選挙の投票が行われた場合にどの政党に投票するかとの質問に対し、AKP39.3%、CHP29.6%、MHP17.7%、HDP11.4%との結果となり、HDP は 10%の足切り条項をクリアする見通し。クルド人の 36%が AKP、50%が HDP、14%がその他の政党を支持。また、71.17%が大統領制を支持

していないことが明らかとなった。HDP に流れた票の82-84%は AKP からで、デンギル・ミル・メフメット・フラット氏（注：AKP の設立メンバーの一人で副党首も歴任）が AKP から HDP に移籍したことが影響していることが判明した。（3月19日C紙6面）

●チャナッカレ戦勝 100 周年記念式典

18日、1915年のチャナッカレの戦いにおける戦勝から100周年を迎え、チャナッカレ3月18日スタジアムにおいて記念式典が開催された。式典に出席した、ダーヴトオール首相は、クルド和平プロセスに関連し、先人が残してくれた「兄弟・友好」という遺産を、永遠に守り続けることを戦死者の前で改めて約束する、ディヤルバクル、イズミル、ハッキヤリ、エディルネでも、戦死者の子孫達は肩を寄せ合って未来に向かって歩いていく旨述べた。チャナッカレにおける式典には、オゼル参謀総長も出席した。

チャナッカレでの戦いにおいて、オスマン帝国側は5万7263人が戦死、これに捕虜、行方不明、傷病者の数を加えれば21万人から21万8000人に上る。一方、連合国側の戦死者は6万人。（3月19日M紙19面）

【外交】

●シリア問題：ケリー米務長官発言への反発

(1)ケリー米務長官が「アサド政権と交渉せざるを得ない」と発言したことに対し、トルコ側は強く反発。チャヴシュオール外相は、「20万人もの命を奪い、化学兵器を使ったアサド政権と何を交渉せよというのか」と述べ、トルコの対シリア政策に変更はないことを強調した。（3月17日付H紙17面）

(2)在トルコ米国大使館の発表によれば、米国のジョン・アレン ISIL 担当米大統領特使とブレット・マクガーク補佐官は、シニルリオール・トルコ外務省次官と会談し、米国側から、アサド政権は既にシリア統治の正当性を失っているとの米国政府のアサド政権に関する立場に変化はないことを改めて表明した。（3月19日付H紙17面）

軍事

●トルコ兵の発砲で男性が死亡—トルコ南東部キリス県

トルコ南東部キリス県の対シリア国境付近の軍事制限区域に乗用車1台が侵入したため、トルコ軍兵士が発砲。この車に乗っていた男性（26歳）が死亡した。この車には密輸業者とみられる5人が乗っており、トルコ軍兵士の警告にもかかわらず、停車しなかったことから、兵士は車に対して発砲したという。（3月17日付DA）

●インジルリック空軍基地から飛んだ無人爆撃機が撃墜される

これまでは、米軍は ISIL の偵察のため無人爆撃機（プレデター）をシリア政府に通報の上、シリア上空で使用していた。先日ケリー米務長官が ISIL に対して今後プレデターで空爆する可能性もあると述べてすぐの17日夜にシリア国内で、シリア政府軍によってプレデターの撃墜事案が発生した。撃墜されたプレデターにミサイルは搭載されていなかった。



（3月18日付C紙17面）

経済

●失業率、10.9%と4年ぶりの高水準

16日、統計庁が発表した昨年12月期の失業率は10.9%で11月の10.7%より上昇し、過去4年間で最も高い水準となった。非農業分野の失業率は12.9%である一方、15~24歳の若年層の失業率は20.2%、15~64歳では11.2%となった。経済減速及び労働参加率の上昇が要因とされている。15歳以上の失業者数は310万人で男性の失業率は10.2%、女性の失業率は12.6%。15歳以上の就業者数は2560万人で就業率は44.7%（男性：63.6%、女性：26.2%）。分野別の雇用割合は、農業部門が19.5%、産業部門が20.5%、建設部門が7.1%、サービス部門が52.8%となっている。（3月17日付HD紙10面）

●2月の財政赤字は23億6000万リラ

16日、シムシェッキ財務大臣が発表した本年2月の財政赤字は23億6000万リラ（9億ドル）。インフラコスト及び利払いが要因としている。昨年同期は17億リラの財政赤字であった。同大臣は、金融市場のボラティリティと低い国内需要にも関わらず、財政収入は強固であるとし、次月以降は、回復していくと予測している。2月の政府収入は、対前年同期比16.6%増の402億リラ、財政支出は30%増の425億リラ。利払いを除いた支出が対前年同期比21%増の356億リラ、利払い支出が107%増の69億リラ。財務省は、2015年の財政支出を4730億リラ、財政収入を4510億リラを見込んでいる。本年に入って2ヵ月間での財政収入は対前年同期比11%増の803億リラ、財政支出は14.7%増の788億リラ（利払いは120億リラ）。（3月17日付HD紙10面）

●TUSIAD、DEIK からの脱退を求める

15日発行の経済誌エコノミストは、TUSIADがDEIKの設立メンバーからの脱退及びDEIKへの会費支払を拒否し訴訟を起こしていると報じた。同誌によると、TUSIAD関係者は、DEIKの正当性を弱めることが目的ではなく、TUSIADが非政府組織でありながら公的機関を構成するメンバーの一員であることが正しいとは思わないと述べた。

ヴァルダン DEIK 会長は、訴訟の事実を認めつつ、DEIKはTUSIADとの間で問題はなく、TUSIADのメンバーからは、ディンチェル前会長時代に行われた決定に沿って提訴されたと聞いている旨述べた。（3月17日付HD紙1、10面）

●TANAP 起工式にエルドアン大統領出席

17日、トルコ東部カルス県において、アゼルバイジャンの天然ガスをトルコ経由でヨーロッパに移送するアナトリア横断パイプラインプロジェクト（TANAP）の起工式が開催され、式典にエルドアン大統領、アゼルバイジャンのイルハム・アリエフ大統領、グルジアのギオルギ・マルグヴェラシヴィリ大統領が出席した。ガス輸送量は、第1段階では160億m³から開始し、2026年には310億m³の達成を目指す。そのうちの60億m³はトルコが取得することになっている。2018年にガスの輸送を開始しトルコに到達、2020年初頭までにヨーロッパに到達する予定。（3月18日付HD紙1、10面）

●首相府、年間予算の約半分を消費

財務省の最新のデータによると、トルコ首相府は、本年1-2月の2ヵ月間で年間予算約10億リラの約半分にあたる4億6070万リラを執行済み。昨年と比較すると劇的な上昇。財務省は、月間の支出実績は公表しているものの、支出の詳細な内訳は公表していない。2014年の首相府の当初予算は9億3380万リラであったが、8月までに予算執行を終え、

24 億リラまで増額補正し、最終的には 23 億リラを執行した。(3 月 18 日付 HD 紙 11 面)

●中央銀行、金利据え置き

17 日、中央銀行は、記録的なリラ下落、インフレリスク及び政府高官からの金利引下げ圧力の中、1 週間物レポ金利 (7.50%)、翌日物借入金利 (7.25%)、翌日物貸出金利 (10.75%)、をそれぞれ据え置くことを決定した。(3 月 18 日付 HD 紙 10 面)

●第 1 四半期で経済回復は見られない

18 日、中央銀行は、食品の価格高騰やボラティリティが消費者物価にネガティブな影響を及ぼしており、第 1 四半期ではトルコの先行指標が経済の回復を示していないとした。中央銀行は、17 日の金融政策委員会で主要金利の据え置きを決定した際、堅実な財政及びマクロブルーデンシャルに沿った継続的で慎重な金融政策は、特にコアインフレに好影響を及ぼしているが、国際市場の不確実性及び食品価格の上昇が金融政策において慎重な姿勢の維持を必要としているとした。(3 月 19 日付 HD 紙 10 面)

●EU とトルコがエネルギーのハイレベル対話を立ち上げ

17 日、トルコと EU はハイレベル・エネルギー対話及び戦略的エネルギー協力プロセスの立ち上げに関する共同声明を発表。トルコは、中東のエネルギー資源と、カスピ海地域及び EU 市場での自然エネルギーの架け橋及びハブであるとし、トルコのエネルギー・ハブとしての発展はトルコと EU に恩恵をもたらすとしている。また、少なくとも年に 1 回、閣僚級のハイレベル・エネルギー対話を開催することで合意したとしている。(3 月 19 日付 HD 紙 10 面)

治安

【テロ関連】

●外国情報機関で働くシリア人作業員を拘束か

チャヴシュオール外相は、2 月にイギリス人女子生徒 3 人が ISIL に参加するのを支援したとみられる外国情報機関の作業員を拘束したことを明らかにした。同外相によれば、この容疑者は ISIL に対する米主導有志連合に参加する国の情報機関で働く者で、国籍は特定されなかったが、米国や欧州連合 (EU) 加盟国ではないと語った。情報筋によれば、今回拘束されたのはカナダの情報機関で働くシリア人であるとのこと。事実関係に関し、アンカラのカナダ大使館はノー・コメント。(3 月 13 日付 HD 紙 1 面)

●ISIL への参加を計画していた英国人 10 代少年 3 名がイスタンブールで拘束

13 日、イスタンブールで ISIL に参加しようとしていたイギリス人少年 3 名 (17 歳 2 名、19 歳 1 名) の身柄が拘束された。今週中にイギリスに強制送還となる予定。(3 月 16 日付 HD 紙 2 面)

●ISIL に参加しようとした女性を拘束

イギリス人女性 Jalila Nadra H. (22 歳) がトルコを経由して、シリアに出国し ISIL に参加するとの情報がイギリス当局からトルコ当局に通報され、アンカラのバスターミナルで身柄を拘束された。現在、強制送還準備のため、外国人収容所に収容中。(3 月 18 日付 C 紙 7 面)

●キュチュックチェクメジェ市でバナーと不審物が発見される

17 日、キュチュックチェクメジェ市ハルカル地区ハルカル通りにあるショッピングセンター前面道路の中央分離帯に「ギャングを倒すぞ ハルクジェベシイ (人民戦線 : DHKP/C 関連団体)」と書かれたバナーが取り付けられてお

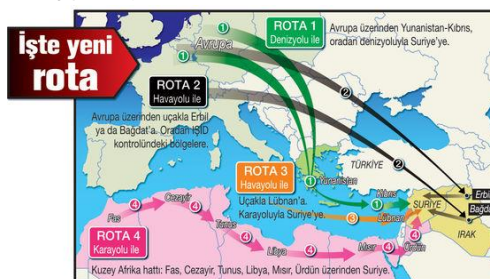
り、その下に不審物が置かれていた。警察が不審物を回収して調査中。



(3 月 18 日付 Web portal 「Haberler」)

●欧州から ISIL に参加する外国人戦闘員のルートが変わりつつある

2 月にイギリス人少女 3 名がトルコを経由してシリアに出国して以降、トルコ-欧州間での情報交換が頻繁に行われるようになり、1 ヶ月間で 1100 人がトルコから欧州へ強制送還され、ブラックリストには欧州人 1 万 2500 人が登録された。これを受け、外国人戦闘員のシリア入国ルートがトルコを経由しないルートに変わりつつある。また、トルコ警察情報当局は、彼らは普通の旅行者のようにしてトルコに出国しているとして、引き続き各国からの情報提供を呼び掛けた。



(3 月 18 日付 HT 紙 18 面)

【PKK 関連】

●HDP 「オジャラン PKK 首領は歴史的書簡を書いている」

最近イムラル島でオジャラン PKK 首領と面談した HDP オンデル副党首は、「今年のネヴルーズで読み上げられるオジャラン首領の書簡は“歴史的”なものである」とコメントした。また、KCK ジェミル・バユク副議長は、「武装解除を発出できるのはアポ (オジャラン首領) だけ」として、オジャラン首領との面談を要求。(3 月 16 日付 HD 紙 3 面)

●オジャラン PKK 首領、ベッカー溪谷の友人 4 名を秘書に

オジャラン PKK 首領の要請を受けて、和平プロセスのため、レバノン・ベッカー溪谷で行動を共にしていた旧友 (いずれも PKK 幹部として終身刑を受け、18~20 年間在監中の者) 4 名とその他 1 名がイムラル島に移送された。



(3 月 19 日付 C 紙 5 面)

【デモ関連】

●メーデーはタクシム広場で

トルコ国内大手労働組合 DISK, KESK, TMMOB, TTB は、今年のメーデーはタクシム広場で実施する方針であることを発表した。(3月17日C紙13面)

【一般】

●マフィアに対する捜査で3名逮捕

昨年12月24日、イスタンブール大市シシリ市ニシャンタシュ地区の自宅前で射殺されたマフィア構成員ヴェダト・シャーヒンの報復計画を立てていたとされるマフィアメンバー19名が拘束され、最終的に3名に対する逮捕状が裁判所より発布され逮捕された。ヴェダト・シャーヒンの兄であり、マフィアのリーダーであるセダト・シャーヒンが報復計画の首謀者とされるが、セダトは未検挙。身柄が拘束された現場では多数の銃器、弾丸等が押収された。



(3月17日付M紙3面)

●総選挙治安対策

トルコ警察庁(TNP)は、6月7日の総選挙の警備対策として、投票日の3ヶ月前から、東部、南東部の18県に合計2万人の警察官を配置する事を決定した。また、派遣された警察官はそれぞれ、派遣先の県で投票を実施するとのこと。(3月19日付C紙4面)

●テロ事件へのMIT関与の告発を棄却

イスタンブール検事局は、元内務大臣イドゥリス・ナイーム・シャーヒン氏の告発(2009年12月にトルコ人女性1名が死亡した、イスタンブール大市キュチュクチェクメジェ市内で発生したPKKによるバスに対する火焰瓶投擲事件にMITが関与していたとされるもの)については、証拠がないとして却下する決定を行った。(3月19日付HD紙2面)

●イスタンブールで原発サミット

イスタンブール大市シシリ市内のグランドジェヴァールホテルにおいて、19日、20日の二日間に渡り、原発サミット(UAE、ヴェトナム、バングラディシュ、ヨルダン、ポーランド等が出席)が開催される。イスタンブールで2度目の開催となる。(3月19日付HD紙2面)

社会

●「甘い」歴史巡り

イスタンブール・エセンユルトに所在する25,000㎡の工場、チョコレートで作った世界「ペリット・チョコレート博物館」が子ども達と童心を持った大人たちの注目を浴びている。

博物館ではチョコレートでできたファーティフ・スルタン・メフメット、アタテュルク、メヴラーナ等のトルコの歴史に足跡を残した人物の像、ブルー・モスク、アヤソフィア、乙女の塔などが訪問者に「甘いひと時」を約束する。

訪問者は入場後、カカオから作られるチョコレートの製造過程やチョコレート細工の説明を受ける。特に子ども達はチョコレート・ストリートやノア方舟の中の動物たちを熱心に観察した。

すべてがチョコレートでできた「イスタンブール」では、アニメキャラクターの像も人気を集め、流れる「チョコレートの噴水」も注目の的だ。(3月13日付HT紙23面)

●トルコで大学入試、204万人が受験

15日、トルコで大学入試試験が実施され、約204万人が受験した。今年はトルコ語と数学の問題が難しかったようだ。(3月16日付H紙33面)

●ラッフルズ・イスタンブールが2015年の最もクールなホテルに選ばれる

昨年11月に初版が発行された「Enlyiler」誌に、世界のBESTホテルとしてリスト入りしたラッフルズ・イスタンブール・ゾルル・センターが、米国版「TRAVEL + LEISURE」誌の2015年の最もクールなホテルの一つに選ばれた。(3月16日付HT紙21面)

●カッパドキアのバルーンツアーが地域観光に貢献

ウルギュップ、ギョレメ、チャブシン、ウチヒサルを中心に整備されているカッパドキアのバルーンツアーが観光客の高い関心を集めている。カッパドキアの自然と歴史遺産を空から観察できる約45分間のツアーは200ユーロ程度。この地域では25社がバルーンツアーを提供しており、昨年は424,000人がツアーに参加した。(3月17日付H紙11面)

●GEDIK KAYNAK社、2014年から女性労働者の雇用を開始

溶接機器や溶接発電機を制作しているGEDIK KAYNAK社では、通常は男性労働者が多くを占める職場で2014年から女性労働者の雇用を開始した。労働者345人のうち、女性労働者は75人を占め、そのうち何名かの女性労働者は男性が羨むほど成功している。(3月17日付H紙10面)

●タクシム-カバタシュ間のケーブルカーが故障

17日朝8時頃、タクシム-カバタシュ間のケーブルカー(Funikuler)で技術的な故障が発生し、ケーブルカーが一時停止、通勤客に影響を及ぼした。IETTは、タクシム広場までの特別バスを運行した。(3月18日付HT紙22面)

●TEM高速道路で路側帯侵入などの交取取り締め

イスタンブール交通支部管理チームは、TEM高速道路のウムラニエ地区で、路側帯(緊急車両のみ通行ができる右端の車線)への進入や無許可のサイレン使用の取り締めを行い、救急車二台と領事館の運転手に対し、路側帯への進入で違反切符を切った。

この他、路側帯に進入した霊柩車が管理部によって停止され、遺体搬送中との運転手の主張に反して車には棺が積載されていなかったため、違反切符が切られた。管理部のアルペル氏は、イスタンブールの最も深刻な問題の一つが、交通渋滞であり、路側帯への進入や、無許可のサイレンの使用が渋滞の一因になっていると述べた。(3月19日付HT紙23面)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	ÖSB	PKKの防衛隊
AKP	公正発展党（現与党）	OİB	首相府民営化管理庁
BDDK	銀行監督庁	PKK	クルディスタン労働党
BDP	平和民主主義党（クルド政党）	PYD	シリア民主主義連合党
BOT	建設・運営・譲渡方式	RP	福祉党
CHP	共和人民党（最大野党）	RTÜK	ラジオ・テレビ高等機構
DEP	民主党	SNC	シリア国民評議会
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	SPK	証券取引監査院
DHMI	国家航空局	SSM	防衛産業庁
DISK	先進労働組合連合	TBB	トルコ弁護士協会／トルコ銀行協会
DTK	民主主義社会評議会	TCDD	トルコ国鉄
DTP	民主社会党	TDHB	トルコ歯科医師会
DYP	正道党	TESK	トルコ商工業連合
EDAM	経済外交政策センター	THY	ターキッシュ・エアラインズ
EPDK	エネルギー市場監督庁	TİKKO	トルコ労働者・農民解放軍
HDP	人民民主党（クルド政党）	TMMOB	トルコ・エンジニア・建築会議連盟
HSYK	裁判官・検事高等委員会	TOKİ	トルコ集合住宅開発局
İDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOMA	放水装甲車
İHH	人権・自由・人道支援団体	TPAO	トルコ石油公社
İKSV	イスタンブール文化芸術財団	TTB	トルコ医師会
İSO	イスタンブール産業会議所	TÜBİTAK	トルコ科学技術研究機構
İşİD	イラク・レバントのイスラム国（アルカイダー系）	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール商工会議所	TÜPRAS	トルコ石油精製会社
KCK	クルディスタン共同体同盟（PKK系）	TÜSİAD	トルコ産業・実業家協会
KESK	公務員労働組合連合	TÜVID	トルコ投資家関係協会
KRG	北イラク政府	YÖK	トルコ高等教育評議会
MHP	民族主義者行動党（野党）	YSK	選挙高等委員会
MIT	国家諜報機関		

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞	英字新聞		通信社		
Akşam	A	Economist	EC	Anadolu News Agency	AA
Cumhuriyet	C	International New York Times	INYT	Agence France Presse	AFP
Haberturk	HT	Hürriyet Daily News	HDN	Cihan News Agency	CA
Hürriyet	H	Today's Zaman	TZ	Doğan News Agency	DA
Milliyet	M			Ihlas News Agency	IA
Posta	P			Interpress	IP
Radikal	R				
Sabah	S				
Taraf	T				
Vatan	V				
Zaman	Z				

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。
istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【イスタンブール県及び近郊県内邦人被害統計】

イスタンブール邦人被害統計				
2014.1.1～2015.3.19 ※総領事館に訴出があったものを集計				
年	窃盗	詐欺	ぼったくりバー(相談)	高額絨毯購入(相談)
2014年	2件	4件	33件	5件
2015年	1件	0件	5件	1件

●ぼったくりバー被害

3月18日、邦人男性旅行者が、スルタンアフメット地区で観光中、自称カタール人二人組から声をかけられ、案内されるまま、一緒にバー（場所不明）で飲食。会計時に4000リラを請求された事案が発生。

★当館HP更新のお知らせ★

- 日本の武術（古武道・剣道・居合道）デモンストレーション開催報告（3/13）NEW
- 「イズミルで日本の桜風」イズミル日本文化週間開催報告（3/13）NEW
- イズミル県での安全対策連絡協議会実施のご報告（3/12）NEW
- 領事手数料（2015年度）(03/13) NEW